



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和8年4月28日

第2号



みんなが「自分の居場所」をつくる

校長 中川 琴似

4月から毎日、学校のなかを歩きながら、教室の場所をおぼえたり、授業の様子を見たりしています。私の名前のクイズに挑戦してくれる人や、朝と帰りにサイン（手話）の挨拶を返してくれる人も増えて、とてもうれしいです。廊下から教室を見ていると気が付いて、そっと私にサインの挨拶をしてくれる人もいます。考えるのが早い人、じっくり考える人、前に出るのが得意な人、さりげなく手伝うのが得意な人、声が大きくてムードをつくれる人、あまり話さないけど友だちの話最後まで聞ける人がいます。顔がちがうように、私たちは一人ひとり、みんな中身もちがいます。

「ちがいは、ときどきズレや誤解、トラブルを生みます。だから、ちがいを「めんどうだな」と思うこともあるでしょう。でも、もし、みんなが同じだったら、この学校はどんな学校になるでしょうか。

だれにでも苦手なことはあります。それは「欠点」ではありません。考えがちがうから、新しいアイデアが生まれます。感じがちがうから、「ああ、そうなんだ」と、気が付いて世界が広がります。

朝比奈は7年前から「リーダー・イン・ミー（7つの習慣）」という考え方を大切にしています。

それは「なんで、できないの」ではなく、「どうしたら、できる」を、みんなで考えること。これは、これからみなさんの生きていく力になります。助ける人と、助けられる人は、いつでも交代することがあります。みなさん一人ひとりの行動が、朝比奈小学校に安心できる「自分の居場所」をつくれます。

保護者・地域の皆様、朝比奈小学校は第5期横浜市教育振興基本計画と次期学習指導要領改訂を見据えて、今までの「リーダー・イン・ミー」とインクルーシブ教育を合わせ、中期学校経営方針を定めています。子ども一人ひとりが安心して一歩踏み出せる環境で、居場所と役割をもてるよう、保護者と地域の皆様のお力をいただきながら、学校もお子様を支えて参ります。



ホタル池守りたい活動

4月18日（土）午前中に地域の方や教職員、保護者、児童と共に今年度1回目のホタル池整備を行いました。

朝比奈小学校の「わくわくホタル池」は、平成11年当時の5年生が、侍従川の源流を調べる学習で、裏山にある湧き水を発見し「ひみつの池」をつくり、市の環境保全局や地主、造園業の後援を得て、地域や保護者とともに水を池に引き、平成12年に「わくわくホタル池」が完成しました。様々な変遷を経て、朝比奈小学校の自然遺産として今日まで活動が受け継がれていることは、たいへん誇らしいことです。

ただ近年、ホタル池整備活動は人手不足、水不足、資金不足となっています。中でも、**水不足の問題**が大きく、今回の活動でも湧き水の水量が極端に少ないことがわかりました。水路に詰まった土や草の根の除去作業も行いましたが、残念ながらホタル池まで水が通じませんでした。池を維持するには、**新たな水源の発見と本格的な土木作業を要します**。しかし今まで中心に関わっていただいた方々が来校できなくなり、働き方改革で多くの教職員が参加することも難しくなっています。年間6回（土曜日実施）の「ホタル池整備活動」は**安定した財源が必要です**。地域主導による「学校ファンド」や「ふるさと納税」の活用など、より多くのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

6月13日（土）夜7時～8時「ホタルを見る夕べ」今年度も実施予定です。



※雨天等により中止の場合あり